

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	970 放課後児童対策事業	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	04	児童福祉費
基本施策	08 子どもを産み育てやすい環境をつくる	目	01	児童福祉総務費
		細目	217	放課後児童対策事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	放課後児童対策事業
担当部課	コード	603000		担当者氏名
	名称	島ヶ原支所住民福祉課		
		連絡先	59 - 2163 (内線) 30	

対象(誰を、何を)	居間留守家庭の小学校低学年の児童及び保護者	※対象件数
成果(どうする)	児童が放課後を安全に、健康で元気に過ごすことが出来る。	
根拠法令・要綱等	伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例、伊賀市放課後児童対策事業実施要綱	
開始年度	平成 17 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	指定管理者制度による、島ヶ原放課後児童クラブ運営委員会へ管理運営委託	
社会情勢の変化等	島ヶ原会館の一室で運営をおこなってきたが、平成21年度、島ヶ原地区市民センターに併設された。平成21年6月1日より、同場所にて運営をおこなっている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	指定管理
委託先	島ヶ原放課後児童クラブ運営委員会
2 配置人員	2人
3 年間運営費	1,450 千円
4 市内の類似施設	11箇所

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
児童クラブ入会申込者数		人	目標	11	目標	11
			実績	13	実績	9
児童クラブ入会登録者		人	目標	11	目標	11
			実績	13	実績	9

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
利用者数		対象児童がどの程度利用されているか判断する。	人	目標	11	目標	11
				実績	13	実績	9
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	1,400	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,537	
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	559	559	784	784			
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	841	891	666	753				
事業投入人件費(B)	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440		
フルコスト(A)+(B)	2,840	2,890	2,890	2,977				

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	平成17年度から開所しているが、現在利用者が9人で、経過措置として補助金を受けているが、平成20年度以降は利用者が10人以上でないと受けられないので、対象者への啓発に取り組む。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 受入れにも余裕があり、放課後児童クラブ利用要件を満たす小学校高学年についても利用登録をおこなった。。

担当課長氏名	川口 正仁
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 島ヶ原放課後児童クラブ運営委員会は、放課後において保護者の指導を受けることが困難な児童を地域で見守り育てていくことを目的に、地域住民が中心になって組織され、適正配置された放課後児童指導員が児童や保護者と信頼関係を構築しながら、良好な管理運営をおこなっている。
現時点における課題、その他	少子化が進み利用者数が減少傾向にある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	来年度は、指導員が7名体制となる。長期休業期間は指導員が午前2名、午後2名の交替性をとっていることから、登録制による指導員の確保に努める。